

理事長退任に 当って



Gジャパンフロンティア協会
名誉理事長
廣瀬一美

Gジャパンフロンティア協会設立から十年余、日本の伝統的精神文化を中心に日本興しを旨として活動して参りました。その間理事の皆様方の温かいご協力により何とか続けて参り、次の田邊理事長にバトンタッチが出来ましたことはこの上ない慶びであり、深謝いたします。

これからの微力ながら、皆様と共に活動させて頂きたいと存じますので宜しくお願ひ申し上げます。



これでいいのか 日本の教育

義家弘介参議院議員



今の教育現場で、反抗すると自分の利益にならないから黙って、「はい判りました」と言つて育つた生徒が大人になる。問題を隠蔽する体質の国家になるのは当然です。戦後民主主義の行き着いたポピュリズム、敵の居ない人がリーダーになると言う衆愚政治の成れの果てです。

沖縄の式典に参加し、左翼運動屋ではなく地元の真の声、普天間基地の問題の反対派、容認派（当然賛成派は居ない）両方の意見を聴いてきた。反対派の人も、「事情はわかるが、やるのか、やらぬのか政府が揺れ動いている中で容認は出来ない。」容認派の人も「アメリカが退いて

守るべき伝統的精神文化とは

今年の5月、初代廣瀬理事長の退任に伴い、私が理事長に選任されました。本協会の設立趣旨に従つて、日本の伝統的精神文化の維持発展に努力して行きたいと思ひます。会員の皆様の御協力をお願い致します。

今回は日本の伝統的精神文化について考えて見たいと思ひます。

今日の日本の社会の乱れや活力の低下は、物質第一主義、周りの人が見えない個人主義、恥の意識が無くなったこと、美的感覚が無くなったことなどによるもので、米国の占領政策である日本の歴史と伝統を否定する教育政策が原因であることは明らかです。

日本の文明は世界の七大文明の一つとされており、しかも一国一文明は日本だけです。

それでは、私達が維持発展すべきだと考える良き日本の伝統的精神文化とは何

でしょうか。

それは和の心と、自然と共生しているという意識から生まれる美的感覚なのです。

和を大事にするという心は、日本の古代からあるものです。

聖徳太子の十七条の憲法の第一条では「和を以て貴しとなし・・」と言い、人にとって一番大切なことはお互いに協調し合うことであると言っています。

また、やまとという国名は、漢字が入つてくる前からのものですが、漢字が入つてきた時、和を尊ぶ国柄を表すために、大と和という字を当てて「やまと」と読ませたのです。このことは、その当時から如何に和というものを大切にしていたかということを示しています。

日本人は常に集団の中に組み込まれ、他人と相互依存の関係にあり、自己一体の中で、思いやり、謙譲、私よりも公を優先し、競争を避け、和を

大事にすることが文化となつたのです。

和は家族、地域、国などの共同体を維持し、強固なものにする唯一の絆なのです。

次に、日本人の自然との共生観です。

日本の自然は豊かな恵みや美しい四季の景観とともに地震や暴風雨などの苛烈な面をも見せてくれます。

日本人は自然に対して、感謝と畏敬の念を持つて共生しているのです。

四季の細やかな変化に富んだ美しい自然は、人々に繊細な美的感覚を、与えてくれました。

雨は外国では唯の空から落ちる水滴に過ぎませんが、日本では春雨、夕立、五月雨、秋雨、秋雨、水雨、時雨、慈雨、霧雨、小糠雨、驟雨など色々な情緒を持った雨があります。

このような感覚により、人は日常の行動を美意識に基づ



Gジャパンフロンティア協会
理事長
田邊 拙

いて行うようになり、道徳も美醜により判断されるようになりました。非道徳な行為をきたないと表現するのがその表れです。

更に、何かが付いて汚いと言ふことの違いは日本人独特のもので、汚いは物理的で、穢れは心理的なものです。

家庭で家族がそれぞれ自分の箸や茶碗を持つていて、外食店で割り箸を出す、神社にお参りする時手や口を漱ぐ、葬式から帰ると塩で清めるなどが穢れの原因です。

江戸期以降、日本にきた外国人が、日本には貧乏人はいないが、貧乏はない、日本人はアジア人と違つて約束を守り、礼儀正しく清潔であると絶賛しています。

このような美しい文化が個人の権利のみを主張し、他人の存在を顧慮しない自己中心主義によって失われてしまつたのです。

戦前の教育勅語では「智徳、体」をしつかりバランス良く重視していたが、それが無くなった。教師は授業中は生徒に対して、大人として、先輩として、指導者として、厳しく教育をしなければならぬ。母性は昔と余り変わらないが父親が変わった。甘さは本當の愛ではない。説得力のある父権復活が大切です。

多くの外国人、韓国人が日本を理解するのにプロセスがあります。来日の1年目は、とても良い印象を持つ。震災で見たように、親切で思いやりのある国民だと思ふ。2年目はもつと突つ込んだ付き合いをしようと思ひ、判らなくなる。曖昧さが不信任になる。3年目は嫌いになる。自分を外国人として、心を開いていないと感じる。大半の韓国人、中国人がその2年半の壁を乗り越えないで、理解しないまま帰国します。

私が惹かれた 日本文化

呉善花 拓殖大学教授



欧米で今何故「日本風」に人気があるのか？ それは彼らが資本主義に行き詰まりを感じ、物質文明に疲れたからです。「茶道」「柔道」「華道」という時の「道」は自然の道であります。

着物には四季があり、自然の一体感があります。

この「日本風」は欧米人が自然に向き合いたい、と思ふ気持ちのあらわれだと思ひます。

多くの外国人、韓国人が日本を理解するのにプロセスがあります。来日の1年目は、とても良い印象を持つ。震災で見たように、親切で思いやりのある国民だと思ふ。2年目はもつと突つ込んだ付き合いをしようと思ひ、判らなくなる。曖昧さが不信任になる。3年目は嫌いになる。自分を外国人として、心を開いていないと感じる。大半の韓国人、中国人がその2年半の壁を乗り越えないで、理解しないまま帰国します。

日韓、日中の問題があるのはなぜか？韓国では部屋に入る時、靴を脱いで、そのまま後、靴を玄関に向けて置き換えて部屋に入る。私が脱いだ靴を家の人が玄関向きに置き換える。私に早く帰つて貰いたい、と思つているのだ、と。日本では鍋物の中味は、野菜、肉、豆腐などが整然と並べ置かれて、それを取り箸で自分の皿に取つてから自分の箸で静かに食べますが、韓国では皆んなで鍋の中身を自箸で混ぜ、鍋から直接口に持つていつて、音を立てて食べるのが流儀。

生き方について、日本人は善悪より、美しさを大事にしてきたことです。美しく生きるだけでなく、美しく死にたいという美意識は日本人以外にはありません。侘び、寂び、粹、などは日本人独特の感覚です。

欧米人には満開の花が最も美しい。つぼみの花、散る花に風情を感じる日本人の美意識、命のはかなさに美意識を感じるのは、中国人、半島人には仲々理解できないことです。

日本は、欧米化された文化農耕アジア的文化、縄文的（自然を受け入れ融合する）文化の三つを融合させて作り上げた伝統の技術と最先端の技術を受け継ぐ技術大国として、この「日本興しの会」の皆様は日本を救うのみでなく、これからの世界を救うことにならるものと信じて居ります。